

黒沢山林狩猟鳥獣捕獲禁止区域指定計画書（案）の概要

1 名 称

黒沢山林狩猟鳥獣捕獲禁止区域（ニホンジカ・イノシシを除く）

2 区 域

別図による

3 区域に編入しようとする土地の地目別面積及び水面の面積

総面積 288ha （内水面 0ha）

4 存続期間

平成29年11月1日から平成39年10月31日まで（10年間）

5 指定目的

当該地区は黒沢山林鳥獣保護区として存続してきた。近年、イノシシ及びニホンジカを目撃情報が多くなり、今後、生息数が多くなると森林環境被害の発生や里山での農林業被害の拡大が懸念される。これを未然に防ぐため、狩猟による捕獲圧力をかけることにより被害発生の抑制を図る。このため狩猟鳥獣捕獲禁止区域に指定し、農林業被害の軽減と鳥獣全般の保護との両立を図る。

5 管理方針

当該地域は、冬季は積雪が多く黒沢の滝や黒沢川などの水環境が豊富であることや、湧水が多く当該地域の水源地でもあり、広葉樹林が多い林相であることから、ツキノワグマやニホンカモシカなどの生息にとって重要な区域である。このためイノシシ、ニホンジカの狩猟は可とするものの、他の鳥獣は狩猟禁止とする。

なお、鳥獣による住民の生活環境被害、農林業被害、生態系への被害が生じた場合、必要に応じて有害鳥獣捕獲許可を行い、必要な管理捕獲を実施していく。

7 区域における鳥獣の生息状況

（1）地域の概況

当該区域は安曇野市三郷の西部及び黒沢山の上流に位置する標高1200から2000メートルの地域で、天然広葉樹林の多い林相である。冬季は積雪が多く、黒沢川滝等の湧水に恵まれる等水環境が豊富であることや、当該地域の水源地でもあることから、多様な鳥獣の生息に適した環境を具備している。

しかし、以前には見られなかったイノシシやニホンジカを目撃情報が増えており、今後、北アルプスでの生息数の増加が懸念されている。

（2）生息する鳥獣類

ア 鳥類

キクイタダキ、メボソムシクイ、ルリビタキ

ヒヨドリ、シジュウカラ

イ 獣類

○ニホンカモシカ（特別天然記念物）、○ツキノワグマ、○ニホンザル、ノウサギ、
ニホンジカ、イノシシ、アナグマ、○キツネ、○タヌキ、イタチ、テン、リス

(注) ○印は当該地域で一般的にみられる獣類

黒沢山林狩猟鳥獣捕獲禁止区域 位置図



S=1/300,000

